

平成26年度篠田看護専門学校 学校運営評価

1. 学校評価の概略

本校では、教育水準の維持・向上と創意工夫ある教育の追及をめざし、学校運営、教育全般について評価を行い、改善を図ります。

2. 学校運営評価の実施

学校活動の改善に役立てるために、運営状況全般を対象とする評価を毎年度末までに、全教職員が行います。

3. 評価項目

学校運営に関するⅠ～Ⅸの評価分類に44個の評価項目

分類:

- Ⅰ 学校経営
- Ⅱ 教育課程・教育活動
- Ⅲ 入学・卒業対策
- Ⅳ 学生生活への支援
- Ⅴ 管理運営・財政
- Ⅵ 施設設備
- Ⅶ 教職員の育成
- Ⅷ 広報
- Ⅸ 地域との連携

4. 評価尺度

全項目を5段階評価 5:よい 4:ややよい 3:ふつう 2:やや不十分 1:不十分

5. 学校運営の改善

評価結果をもとに課題を明らかにし、より充実した運営を図るために学校改善を行います。

6. 平成26年度学校運営評価結果と課題

平成27年3月に学校評価を実施しました。結果と課題は次のとおりです。

評価項目	課題
学校経営	中間評価を実施しているが、評価結果を後期に活かすことができていない。中間評価から課題意を見出し後期へつなげていく必要がある。
教育課程 教育活動	シラバスは、学生の授業の取組・授業の理解に活用できている。学生による授業評価についてはまだ不十分であり、授業評価を始め、学生の率直な声を反映しながら教育課程等の見直しを検討していく必要がある。
入学・卒業対策	学生確保が難しい状況である。より多くの応募者を確保するために、准看護師養成所訪問・HPの充実等を継続していく。国試対策は、合格率upに向けて意思統一を図った上で具体的な計画を立て実習・講義と関連付けて入学時より実施していく。引き続き重点目標として取り組んでいく必要がある。
学生生活への 支援	学生の健康管理が毎年の課題となり、年間の保健計画を立案し実施している。初めて1人暮らしを始める学生も多く、長期休暇明けや実習期間中に体調を壊しやすい。自己管理できるように支援する必要がある。
管理運営・財政	計画的設備整備、経費削減への取り組み等積極的に実施する。防災計画の一環として、定期的な防災訓練を実施している。また危機管理マニュアルを作成し、定期的な見直しを図っている。見直しを図ることで、より活用しやすい内容となっている。 学校運営に対して、学生の要望があった場合はそのつど対応しているが、計画的に聞く機会を設けていない。今後は、学生の自治会を活用し、学生の意見・要望を聞く機会をつくり、反映させていきたい。
施設設備	学生用PC台数を整備。インターネットの利用環境も整備され学生の自主的学習にも活用されている。
教職員の育成	教育の専門性を高めるため、教員研修や臨床研修に積極的に参加できるよう、引き続き組織的・計画的取組を行っていく必要がある。また、教員間の学内授業参観実施も整備が必要である。
広報	学校のHPは定期的に更新され充実が図られている。更なる充実に向けて受験生や学生の要望も反映させながら、さらに工夫を凝らしていく。
地域との連携	地域に学校を公開する機会として学校祭の実施、また、学生による学校周辺のボランティア清掃が行われている。しかし、地区活動への参加はまだ不十分である。地域行事のボランティア活動での積極的参加など行っていく。職場訪問や職場体験を積極的に受け入れ、内容に工夫を凝らすことで、看護職の理解と職業選択に協力している。

学校運営評価

